

平成18年度行政評価結果(平成17年度実施事業)

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
1	道路総務課	259,351	道路用地取得事業(後退分、未登記分)	5	4	4	5	5	23	建築行為や特定開発事業に伴う道路後退用地並びに未登記道路用地を取得し、歩行者や車両の通行安全を確保するとともに消防等緊急車両の通行障害を解消し、市民の安全で快適な生活を確保することができた。 用地取得面積等 191件 4,001.55㎡	用地取得面積 4,001.55㎡	市民の安全で快適な生活を確保していくため。	継続
2	道路管理課	22,995	測地成果2000導入に伴う座標変換事業	5	4	4	4	5	22	測量法の改正に伴い、公共測量の基準点を日本測地系から世界測地系に移行し、座標値の変換を進め、高精度のデータ供給等が可能となったことから、土地利用など経済活動の活性化が図られる。 3級基準点設置箇所 210箇所	3級基準 点設置箇所 210箇所	高精度な公共測量の執行により、多方面、多機能なデータ活用を容易にし、土地利用などの経済活動の活性化に繋がるため。	継続
3	道路管理課	7,481	国土調査事業	4	4	4	4	5	21	国土調査法に基づき土地の境界及び地積に関する測量を行い、一筆ごとの地籍を明確化し、土地に関するトラブルの防止と個人の権利や財産の保全ができるようになった。 調査実施面積 0.06km <sup>2</sup>	調査実施面積 0.06km <sup>2</sup>	国土調査法に基づき、一筆ごとの地籍を明確化していくため。	継続
4	幹線市道課	72,616	街路整備用地取得事業(幹線市道課)	5	5	3	5	5	23	道路整備計画に基づく用地取得計画により、計画的かつ効率的に用地取得が行われ、都市計画道路の整備促進が図られた。 取得面積 243.06㎡	取得面積 243.06㎡	都市計画道路整備事業計画に基づく道路整備に必要なため。	継続
5	幹線市道課	168,756	道路新設改良用地取得事業(幹線市道課)	5	5	3	5	5	23	道路整備計画に基づき、計画的な事業用地の取得が図られ、道路整備を進めることができた。 取得面積 1,269.64㎡	取得面積 1,269.64㎡	道路整備計画に基づく道路整備に必要なため。	継続
6	幹線市道課	21,621	都市計画道路整備事業	5	5	3	5	5	23	都市計画道路を整備し、地域幹線道路とネットワーク化したことにより、交通渋滞の解消と地域交通の円滑化を図った。 整備延長 354m	整備延長 354m	有効かつ実現可能な整備路線を推進していくため。	継続
7	幹線市道課	70,266	橋りょう架替事業(幹線市道課)	5	5	4	5	5	24	中心市街地とぼうさいの丘公園を連絡する路線の亀の子橋(恩普川)を架け替えし、災害時の避難路として整備した。	架け替え数 1箇所	災害に強いまちづくりを推進するため、計画的な事業執行を図り、平成18年度に事業が完了するため。	完了
8	幹線市道課	210,958	交通安全施設整備事業	5	5	3	4	5	22	通学路等の整備要望路線を主体に整備し、バリアフリー化と交通安全対策を確保した。 整備延長 800m	整備延長 800m	安心して安全な市民生活が確保されるように人に優しいまちづくりが必要であるため。	継続
9	幹線市道課	222,709	道路新設改良事業	5	5	3	5	5	23	道路整備計画に基づく整備が図られ、交通渋滞の緩和と地域間交通の円滑化を図った。 整備延長 482m	整備延長 482m	道路整備計画に基づく道路整備であるため。	継続
10	交通渋滞対策課	230,209	交差点等改良事業	5	4	3	4	4	20	交差点改良及びバスベイ設置等により、道路交通利用者がスムーズで安全な通行を可能とした。 交差点改良 6箇所 バスベイ設置 1箇所	交差点 改良箇所数 6箇所	道路利用者がスムーズで安全な通行ができるようにするため。	継続
11	交通渋滞対策課	80,477	交差点等改良用地取得事業	5	4	4	4	4	21	交差点改良に必要な用地を取得し、交通渋滞の緩和を促進する。 用地取得 3箇所 取得面積 335.7㎡	取得面積 335.7㎡	道路利用者がスムーズで安全な通行ができるようにするため。	継続

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
12	特定路線整備課	1,203,200	道路新設改良用地取得事業(特定路線整備課)	5	5	3	4	4	21	温水恩名連絡道路の整備及び交差点等の改良事業に伴う用地取得を行い、安全で快適な市民生活を確保するとともに交通渋滞の解消を図った。 取得面積 19849.67㎡	取得面積 19849.67㎡	交通渋滞対策路線及び災害時避難路として重要性を要し、平成18年末の完成に向けて、積極的な事業推進を図ったため。	完了
13	特定路線整備課	429,082	温水恩名連絡道路整備事業	5	5	3	5	4	22	沖原交差点から水引小野線を経由し、恩名仲町交差点を結ぶ延長1,100mの路線で、地域内交通の分散化と利便性の向上を図ることと併せ、ぼうさいの丘公園連絡道路と連絡することで、災害時の避難路及び物資の緊急輸送路として整備した。 整備延長 450m	整備延長 450m	交通渋滞対策路線及び災害時避難路として重要性を要し、平成18年末の完成に向けて、積極的な事業推進を図ったため。	完了
14	特定路線整備課	518,502	厚木環状2号線街路整備事業	5	5	4	4	4	22	交通渋滞の解消の推進に向け、水引小野線から愛甲長谷線までの整備で、県道上粕屋厚木線等と連絡し、ぼうさいの丘公園への主要アクセスとして地区間を結ぶ環状系道路として、交通渋滞解消、防災拠点への主要な連絡道路の整備を図った。 整備延長 441m	整備延長 441m	交通渋滞対策路線及び災害時避難路として重要性を要し、平成18年末の完成に向けて、積極的な事業推進を図ったため。	完了
15	特定路線整備課	270,367	厚木環状3号線街路整備事業	5	5	4	4	4	22	交通渋滞の解消の推進に向け、県道相模原大磯線から毛利台までの区間を整備することで、県道上粕屋厚木線、水引小野線へ連絡し、業務施設集積地区(森の里地区)への主要アクセスも確保され、地区間を結ぶ環状系道路形成による交通渋滞の解消が図られた。 整備延長 200m	整備延長 200m	広域的な道路ネットワーク構築を行う事業であり、交通渋滞解消のため、早期完成に向け積極的な事業推進を図るため。	拡大
16	特定路線整備課	413,735	街路整備用地取得事業(特定路線整備課)	5	5	3	4	4	21	道路整備計画に基づく用地取得計画により、計画的かつ効率的に用地取得が行われ、都市計画道路の整備促進が図れた。 取得面積 7903.20㎡ 路線数 2路線	整備面積 7903.20㎡	交通渋滞解消のための特定路線として最重要路線であり、早期完成に向け、積極的な推進を図ったため。	完了
17	特定路線整備課	48,735	大井交差点改良事業	5	5	4	5	5	24	交通渋滞の解消の推進に向け、水引小野線の交通渋滞緩和策として、二つの交差点(萱山、大井交差点)の統合による交通流動の円滑化と歩行者への安全確保を図った。 交差点改良延長 90m	交差点 改良延長 90m	交通渋滞解消のため早期完成に向け積極的な事業の推進を図ったため。	完了
18	特定路線整備課	534,394	相模川右岸堤防国道246号ランプ新設事業	5	5	4	5	5	24	国道129号金田陸橋交差点付近の慢性的な交通渋滞の解消と、車両通行の円滑化を図り、広域的な交通導線の確保をめざして、ランプ全体延長1050mの整備に先立ち、ランプ周辺の関連路線(850m)を整備した。	整備延長 850m	交通渋滞解消のための特定路線として、早期に完成するよう積極的な事業推進を図ったため。	完了
19	生活道路課	29,627	道路交通施設改善事業	5	5	5	5	4	24	駅周辺の道路交通における障害を解消するためのバリアフリー化・無電柱化の設計委託を実施した。 高齢者や障害者も安心して外出できる歩道のバリアフリー化が推進された。	委託件数 5件	スーパーモデル地区に相応して的確な都市基盤整備を推進していくため。	拡大
20	生活道路課	20,218	急傾斜地崩壊対策事業	5	5	4	5	4	23	急傾斜地の整備をし、急傾斜地崩壊による災害から市民の生命・財産を守った。 整備延長 159m	整備延長 159m	事業主体である県に積極的な働き掛けを図り、計画的な推進を図るため。	継続
21	生活道路課	75,032	橋りょう架替事業(生活道路)	4	4	4	5	4	21	幅員が狭く老朽化した橋を架け替える((仮称)温水上の橋)ことにより、近年の車両の大型化と交通量の増大への対応を図ることや耐震化と併せ、橋りょうの通行者の安全と円滑な交通を確保した。	架け替え数 1箇所	車両の大型化と交通量の増大への対応や耐震化と併せ、橋りょうの通行者の安全と円滑な交通を確保するため。	継続
22	生活道路課	52,425	交通安全施設整備事業(生活道路)	5	4	4	4	4	21	通学路等に利用されている道路に歩道を整備し、歩行者の安全を確保した。 整備延長 190m	整備延長 190m	安心・安全な道路環境の整備を図るため。	継続

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
23	生活道路課	314,826	道路新設改良事業(生活道路)	4	4	4	4	4	20	地域間を連絡する主要交通路線や幹線市道のネットワークを補完する路線を拡幅整備したことにより、市民が安全で安心して快適な日常生活が営めた。 整備箇所数 21か所	整備箇所数 21箇所	多くの市民要望から、地域のバランスや道路機能の充実、優先性などに配慮し、計画的な事業推進が不可欠なため。	継続
24	生活道路課	499,772	道路新設改良用地取得事業(生活道路)	4	4	4	4	4	20	地域間を連絡する主要交通路線や幹線市道のネットワークを補完する路線を拡幅整備するための用地を取得し、市民が安全で安心して快適な日常生活が営める道路新設改良事業を推進した。 取得面積 3765.28㎡	取得面積 3765.28㎡	多くの市民要望から、地域のバランスや道路機能の充実、優先性などに配慮し、計画的な事業推進が不可欠なため。	継続
25	道路維持課	1,419	道路里親制度事業	4	3	4	4	4	19	道路施設等の維持管理をボランティア活動により実施し、居住環境の向上と地域コミュニティの実現を図り、市民との協働によるまちづくりを推進した。 ボランティア登録団体等 9団体	ボランティア 登録団体等 9団体	居住環境の向上と地域コミュニティの実現を図り、市民との協働によるまちづくりを推進していくため。	継続
26	道路維持課	26,783	橋りょう耐震補強事業	4	4	4	4	4	20	広域避難場所への経路となる重要な橋りょうの落橋防止の対策を実施し、大規模地震に備え市民の安全を確保した。 整備数 4橋(下荒井橋、栗矢橋、神明橋、中屋橋)	整備数 4橋	大規模地震に備え市民の安全を確保していくため。	継続